

令和元年度 神戸市立図書館
事業評価

令和2年8月
神戸市立図書館協議会

令和元年度神戸市立図書館事業評価

神戸市立図書館協議会は、事務局から提出された令和元年度の図書館サービスの自己評価について協議を行い、「令和元年度 神戸市立図書館事業評価」として公表する。

評価の基準

- A：計画どおり実施し、一定の成果があった
- B：概ね計画どおりだが、不十分な点や課題が残った
- C：不十分な点や課題が多く、計画どおりにいかなかった

令和元年度の取組項目と具体的取組及び評価項目

| 図書館事業評価一覧 | |
|---------------|--|
| 令和元年度の目標と行動計画 | |
| 1 資料の充実 | |
| 評価のポイントと取組事例 | <p>(1) 学習拠点としての資料の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学び直しに役立つ基本的な資料の分野ごと買直し検討（中央） 今年度はリカレント教育の観点から資料の購入を行った。 特に、英検や漢検、簿記検定等の一般的な資料だけでなく、特殊な知識や技術、資格に関する検定資料等を購入している。 『認知症ケア指導管理士試験』（中央） 『わかりやすいエネルギー管理士熱分野合格テキスト』（中央） 『ウイスキー検定公式テキスト』（西） 『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集』（三宮) など ・参考図書の充実（中央） 「AI 事典」や「労働六法」等新しい分野や注目されている分野の参考資料の充実を図っている。 ・オンラインデータベースの充実（北神） 4/23 開館と同時に「官報」「BOOK PLUS」「ルーラル電子図書館」の3種を提供開始 <p>(2) 地域資料の充実</p> <p>今年度は、特に古本市等を利用し、郷土関係の貴重資料の収集を重点的に行った。 『改正神戸市地図』1924[大正13年] 『有馬名勝圖』1906[明治39年] 等 また、秘書課収集資料の寄贈や他部局からの行政資料の寄贈も多く受け、中央館、地域館とも資料の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各図書館の地域資料見直し 阪神・淡路大震災から25年目という節目の年を迎え関連資料の出版が相つぎ、新規購入を行うとともに買替・寄贈による収集を行った。 『神戸の慰霊碑を訪ねて：阪神淡路大震災から25年を迎えて』 『心の傷を癒すということ（新增補版）』 その他にも、地域の特色を生かした資料の収集を行った。 『パ酒ポート』（東灘） 『North Kobe Guide』（北神） 『ここらへんを散歩する～長田、新開地の喫茶店とか』（兵庫） ・各区まちづくり課との連絡強化 まちづくり課作成の『North Kobe Guide』には北神図書館について、『ぶらり散策マップ：兵庫区・JR兵庫駅界限』には兵庫図書館について掲載された。 |

| | |
|-----------|---|
| | <p>須磨区作成の絵本『すまぼうとにっこりごあいさつ』を含め、区等の作成資料については、作成区に限らず多くの図書館で閲覧ができるよう資料収集に努めた。</p> <p>その他、まちづくり課を通じて、区内の大学等のイベントチラシの入手・配布にも努めた。</p> <p>(東灘)</p> <p>(3) ユニバーサルデザインに配慮した資料収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LLブック等の積極的収集 (R2.3.31 現在) LLブック：約127冊(うち新規購入数 66冊 新刊が少ないため) 大活字本：約30タイトル 約180冊 |
| <p>評価</p> | <p>【図書館の自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学び直しに役立つ資料については、新規分野の購入も行い、幅広く収集することができた。また、ユニバーサルデザインに配慮した資料収集についても、新刊資料は少ないが、各館が提供できるよう、積極的に収集した。 ・地域資料の収集については、積極的に情報の収集を行い、提供できるようしているが、最近紙媒体での提供が減り電子データでの提供が増えてきているため、電子図書館の機能を活用して提供するなど、新たな方法を検討したい。 ・ユニバーサルデザインに配慮した資料収集についても、紙媒体だけでなく電子媒体を活用した収集を検討したい。 <p>【図書館協議会の評価・意見】</p> <p>(1) 学習拠点としての資料の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新しい職業」という観点をもっと取り入れてはどうか。ドローンを使った仕事、YouTuber、プログラミング教育にかかわる仕事など、これまでの職業分類とは異なる実態が図書館側から見えていないのではないかな。 <p>(2) 地域資料の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古書収集よりもデジタルアーカイブを充実させることが必要だろう。 ・収集した地域資料として記載されている事例はかなり少ないように感じるが、実際はもっと多くあるのだろうか。電子データについて電子図書館機能を活用しての提供を検討したいとしているが、ぜひ進めてほしい。 ・神戸市各区の歴史が身近で分かりやすくなるよう、図書館と各区まちづくり課がタイアップして、神戸市の歴史に市民が理解を深めるよう取り組んでほしい。各区には、町の歴史の参考になる資料、データがあると思うので、有効に活用してほしい。 ・(1)(2)について、多様で新しい知識情報を提供する試みとして評価できる。入手しやすいものだけでなく、利用者が少数であっても、地域住民のニーズに応じた資料収集も重要であり、どこも同じものを揃えるのではなく、各館に特色があること、それらがネットワークで検索、利用しやすい状態にあることも評価できる。 <p>(3) ユニバーサルデザインに配慮した資料収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前協議会の際に初めて知ったLLブックなどだが、新刊が少ないなりに収集されていて良かった。 ・今年のコロナ禍でより需要が求められる、ユニバーサルデザインに配慮した資料収集の電子媒体への活用化を早期に実現できるよう、検討してほしい。 ・現状においても充実を図っているものとして評価できる。 <p>(その他全般)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の自己評価において「紙媒体だけでなく電子媒体を活用した収集を検討したい」とあるように、音声読み上げ機能付き電子図書館サービスなど、電子資料やAIなどICT活用型図書館サービスに移行していくべきであろう。 ・自己評価に書かれているように、電子媒体を活用しての収集、発信に、今後一層取り組んでいただきたい。 |

- ・今後、ますます電子媒体が主流になるだろう。
- ・電子媒体の活用ということが挙げられていたが、学校でもギガスクールの構想が進められているが、そうなると、市立図書館でも電子媒体の充実が求められるようになる。さらなる充実を求めたい。
- ・全体として、紙媒体以外の媒体の収集がさらに試みられることを期待したい一方、活字と紙の感覚を好む利用者が少なくないので、両立をお願いしたい。

評 価

B

2 学習機会の提供（児童向けは、6 子供サービスの項へ）

評価の
ポイント
と取組
事例

(1) 仕事や地域活動に役立つ情報・機会の提供

イベント開催数 17 回・参加人数 142 人 展示の回数 43 回

・講座、講演会、展示、その他イベントの実施

「展示『神戸市大水害 写真とスケッチの記録～貴重資料デジタルアーカイブズ～』」（中央）

7/2～7/15

「展示『認知症について知りたいことが、いっぱいあります。』」（中央）9/18～9/29

「認知症予防展示」（北神・西）9 月

「データベースセミナー」（三宮）4/10 1 人・5/15 1 人・7/17 1 人・11/20 1 人・2/19 1 人

「障害者が地域で暮らすこと@図書館 vol.2」（兵庫）12/6 5 人

自立生活センターリングリング連携

昨年に続き 2 回目を開催。障害を持って生まれた人が地域で普通に暮らすことの意味、意義を当事者自身が語るトークセッション。今回は聴覚障害にスポットを当て、簡単な手話ゲームも交えながら聴覚障害者の視点、日常に触れた。

「展示『創業する前に知っておきたいこと』」（中央）2/1～2/29 日本政策金融公庫連携

(2) 生活の質を高める情報・機会の提供

イベント開催数 158 回・参加人数 4,162 人 展示の回数 498 回

・講座、講演会、展示、その他イベントの実施

「岡田淳氏講演会 ぼくはこうして物語作家になった」 於：婦人会館 5/11 185 人

「鈴蘭台でのひととき 地域と防災について思う」（北）6/23 イベントでブックリスト配布

6/22～6/30 館内で関連図書展示

「雨庭ワークショップ 第 4 弾「雨と緑とアニメ」」（西）6/29 30 人

アニメ作品のなかの雨のシーンを考察、雨の風景と雨の日の過ごし方について考えるワークショップに、関連資料展示とブックリスト配布で参加

神戸市立工業高等専門学校都市工学科・総合運動公園

「みんなで楽しむ音読の会」（中央）8/1 10 人・12/5 11 人

「管理栄養士さんに教わる発酵食品健康講座」（北・北神）8/25 12 人

【健康について考える機会になり勉強になった。参考図書のリストがとてもよかった。】

「資料展示『月の光に誘（いざな）われ』」（須磨）10/16～11/10

アラビアンナイトをモチーフにした装飾で、ファンタジーの物語や世界観の本を展示。

【本の装丁がきれいな本など見栄えを重視し、普段あまり借りられない本も手に取っていた。】

「大人の楽しい朗読」（新長田）6 回 203 人

「大人の一日図書館員」（灘）11/2 4 人

製本や分類の説明・予約図書探し・OPAC 体験・図書のコーティング体験を行った。

【特にコーティング体験が人気で、またやりたい、コーティングだけの講習もあれば参加したいというお声をいただいた。】

「大人の工作教室『万華鏡』」（東灘）11/3 8 人

「北欧伝統装飾ヒンメリづくりに挑戦！」（新長田）11/4 7 人

【工作の難易度がやや高い分、満足度も高かったようで、こういった機会があればまた参加したいというお声をいただいた。】

「トールペイントの世界」（灘）11/4 5 人

「大人のためのストーリーテリング」（北神）11/6 46 人

「北神で 川柳よんで 笑おうね」（北神）

11/1～11/30 川柳コンクール作品募集 応募人数 26 人 83 句

12/3～12/20 川柳コンクール人気投票 投票者数 1113 人

1/4～1/31 川柳コンクール結果発表 上位 20 位を館内掲示。冊子を作成し、上位者に贈呈

「今週の背表紙川柳」（兵庫）11/3～

ミニコーナーにてスタッフによる「今週の背表紙川柳」毎週一句を展示（本の背表紙を並べて川柳（三行詩）を作る）。興味を持った方は、気軽に参加できるように案内した。

| | |
|---|--|
| | <p>「KOBE 1970-80s 作品展」(三宮) 11/25~12/8 もふもふ堂(神戸市在住イラスト画家) 1970~80年代の三宮・元町の風景のイラストを勤労会館1階ギャラリーに展示 「だれでもできる! ストレッチ講座」(新長田) 12/11 8人 Shimizu 整骨院 院長と図書館スタッフによるストレッチ講座、ミニブックトーク 「KOBE 須磨きらくえん「青空市」参加(須磨) 2回 125人 KOBE 須磨きらくえん連携 「震災朗読会 令和の風にのせて」(新長田) 1/19 27人 「本の案内しよっ ~出張図書案内~」(北) 2/23 9人 鈴蘭台ブックストリート参加施設の「街の図書室」にてミニブックトークと利用案内。 【共催者や参加者に「図書紹介」の理解が得られ、継続して企画してほしいと好評だった。】</p> |
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価</p> | <p>【図書館の自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史に触れる展示や同じコミュニティの中に暮らす人たちを知るイベント、自身のスキルを高めるセミナーなど各方面から地域活動や仕事に役立つ取組みを行った。 ・身近な食生活や防災を考える催し、本そのものを楽しむ展示、言葉や文章それ自体を味わう講座等、図書館利用を契機として暮らしを見直し楽しむ機会を多様に提供した。 ・新型コロナウイルス感染症によるイベントの中止が多く、年度末に予定していた講座等の行事が実施できなかった。 <p>【図書館協議会の評価・意見】</p> <p>(1) 仕事や地域活動に役立つ情報・機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス支援関連の情報・機会の提供が「展示『創業する前に知っておきたいこと』」(中央図書館、2/1~2/29)というのは少なすぎるのではないかと。また「データベースセミナー」(三宮)の参加者が毎回1人というのは、工夫が足りないのではないかと。データベースを紹介するというイメージではなく、利用者にとって魅力あるテーマを設定して、それを探求する時にデータベースを使えばこれだけの図書館情報資源が発見でき、活用することによって、これだけのメリットがあるという訴求力の高いセミナーとして再編成する必要があると思われる。 ・新型コロナウイルスの影響でイベントの中止も多かったということだが、それでも数多くのイベントを開催していると感じる。このなかで、データベースセミナーの参加者が毎回1人なのはなぜなのだろう。内容や開催方法などを再検討する必要があるのでは。 ・中央区や北神、西図書館でも認知症関連の展示をされていて、素晴らしい企画である。40代でも若年性認知症があり、展示で学習機会を提供されることで図書館へ足を運びたいと思う。兵庫区の取り組みに12/6『障害者が地域で暮らすこと@図書館 vol.2』のネーミングにもう少し工夫、配慮があればと思う。神戸市民であれば、誰でも利用できる図書館なので、どなたでも参加できやすいイメージが好ましく、何か分断するようなイメージがある。 <p>(2) 生活の質を高める情報・機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様なイベントが行われ、評価できる。ただ、図書館の自己評価において、「新型コロナウイルス感染症によるイベントの中止が多く、年度末に予定していた講座等の行事が実施できなかった」という振り返りではなく、むしろ「ウイズコロナ」「アフターコロナ」の時代には対面型イベントだけではなく、「Zoom」や「Webex Meeting」などのテレビ会議システムを使ったりリモート開催を今後積極的に行っていく必要があるという「総括」が重要である。 ・生活の質を高める情報・機会の提供が多くなされているので続けていただきたい。 <p>(その他全般)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な興味深い内容の機会が提供されていて、よいと思った。参加された方の声を生かして、新たな企画などにもつなげて欲しい。 ・コロナ感染拡大と自粛で、生活のスタイルが大きく変わったと感じている。過去の生活、シンプルな生活を取り戻せた様にも感じる昨今だが、学習の機会、情報発信にそのあたりを留意したテーマを取り上げてほしい。 ・中央が中心ではあるが、他の区の図書館でもイベント内容にカラーがあっているとと思う。with コロナの今、イベントのあり方も模索してほしい。 |

・数値的には十分に努力できている。だれに何を伝えようとした企画が実際にはどうであったかのデータがあると、さらに説得的であると思われる。自己評価に記載されている新型コロナウイルス感染予防によるイベント中止は残念であるが、多くで試みられているようリモート対応への動機づけになっているので、むしろ図書館という物理的な場所へ行かなくても図書館を利用できたり、楽しめたりする新たな機能を開発する契機にされてはどうであろうか。権利関係の問題の残るが、多くのイベントをレコーディングし、新たなライブラリーにできれば資源を有効に活用できるかもしれない。提供する中身の問題と同時に提供の仕方を工夫していくことに気づかせてくれたと思われる。

評 価

A

3 関係機関との協働 (2からの抜き出し)

評価の
ポイント
と取組
事例

(1) 行政機関との連携

イベント開催数 22 回・参加人数 594 人 展示の回数 73 回

・保健福祉局

「食育月間関連展示」(須磨) 6 月

「自殺予防週間関連展示」(全館) 9 月

「展示『認知症について知りたいことが、いっぱいあります。』」(中央) 9 月 (再掲)

「自殺対策強化月間関連展示」(全館) 3 月

・各区まちづくり課

「垂水マスターズゼミ(垂水) 10~12 月 垂水区役所、垂水社会福祉協議会等

「輝け★須磨オヤジ塾『第 5 回図書館の使い方』」(須磨) 12/12 16 人

須磨区役所、須磨区社会福祉協議会等

図書館の便利な使い方について(電子図書館等)と、ワークショップ『一箱図書館長』。

テーマを決めて選書を行い、小さな箱図書館を作る。その後 12/28 まで館内で展示。

・文化財課

→6 子供サービスの項へ

・産業振興センター

「『神戸セレクション』講演会 そして、挑戦は続くー神戸・100 年企業の物語ー」(中央)

12/7 37 人 神戸市産業振興財団

神戸市産業振興財団の事業「神戸セレクション」で認定された商品の企業 2 社(神戸で 100 年以上の歴史を持つ、菓子製造の(株)亀井堂總本店とマッチ製造の(株)ナカムラ)を招いての講演会。

【神戸が好きの方、企業経営に関心のある方が参加された様子だった。「亀井堂さんと神戸関わりを聞くことができて楽しかった」「神戸がマッチの町とは知らなかった」「災害用マッチ、とても良いアイデア】

・文化ホール、KIITO など

「展示『神戸ジャズデイ 2019』」(中央) H31. 3/29~4/7 神戸市民文化振興財団

パネル・ポスターの展示、チラシ配布、関連図書展示

「展示『“KOBE”を語る GHQ と神戸のまち』」(中央) 8/14~8/31

デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO)で平成 30 年度に開催された展示の一部を巡回展示

「inseparable『変半身(かわりみ)』」プレトークイベント村田沙耶香×松井周(中央)

9/14 67 人 神戸市民文化振興財団

12 月に文化ホールで開催の演劇作品原作者と演出家によるトークイベント

【若い人の参加が多かった。「有名な小説家や演出家の話を聞くことは初めて」「こじんまりしたスペースだったので、距離感が近く良かった】

・日本政策金融公庫

「展示『創業する前に知っておきたいこと』」(中央) 2/1~2/29 (再掲)

・その他

「太田治子氏講演会」(新長田) 10/13 69 人 於: 細田地域福祉センター・ふたば学舎連携

【参加者からお喜びの声や再演のご要望など反応を多くいただいた。】

「U5H(=United 5koku of HYOGO(兵庫五国連邦)プロジェクト)ポスター掲示」(三宮)

2/5~2/18 兵庫県企画県民部広報戦略課

(2) 学校園との連携 →6 子供サービスの項へ

(3) 大学との連携

・神戸大学等、地元大学との連携イベントの開催

「星空の世界を広げよう」(灘) 8/16 23 人・2/16 29 人 神戸大学天文研究会共催イベント

「資料展示『和×夏』」（須磨）8/20～9/19 神戸女子大学ビブリア部との共催
おすすめの本と本の紹介POPの展示

「図書館で落語会」（灘）8/10 14人 神戸大学落語研究会

「人形劇がやってくる」（灘）12/14 23人 神戸大学児童文化研究会

- ・大学が実施する地域貢献事業への支援

「KITサイエンスカフェ」（新長田）6/2 17人、「KITまちコラボ」（新長田）8/20 10人
神戸常磐大学、子育て総合支援施設KITとの共催。図書館は各回テーマに関するブック
トックとブックリスト配布、団体貸出で参加

- ・実習やインターンシップ、見学等の受け入れ 45日間・延べ85人

「実習」（中央）同志社大学 8/20～8/24 3人

「インターンシップ」（中央）大手前大学 8/6～8/10 1人

（中央）神戸女子大学 8/15～8/17 2人

（須磨）神戸女子大学 8/6～8/10 1人・8/14, 8/16～8/18 2人

（垂水）県下の大学（垂水区役所経由） 8/21 4人

(4) 企業との連携 6回・119人

- ・ビジネス支援講座の実施（中央、三宮）

※新型コロナウイルス感染症対策のため中止（中央2/29、三宮3/8）

- ・神戸セレクション関連イベントでの地元企業との連携（中央）（再掲）

「『神戸セレクション』講演会 そして、挑戦は続くー神戸・100年企業のお話ー」

12/7 37人 神戸市産業振興財団

- ・出版社・書店との連携イベント（中央）

講演会「本を届ける vol.2『読まなきゃ！100年先も本はある？』」11/9 50人

昨年度から開始した書店や出版界との連携で行う企画「本を届ける」の第2弾。昨年度の
講師である神戸新聞社松岡健氏と、神戸ゆかりの作家福田和代氏との対談形式での講演会。

【対談形式が聞きやすかった。今後もこのような本に係る企画をと望む声があった。】

- ・その他

「楽天技術研究所サマーインターン2019」（中央）9/10～9/16

楽天でのインターンシップ学生による実証実験。来館者と“本との新しい出会い”を促す
ため、読書の秋におすすめする本の「ジャケットや見どころポイント」を一覧して紹介す
るデジタルサイネージシステムを1階ロビーに設置。

(5) 地域団体・NPOとの連携

イベント開催数56回・参加人数1,105人・展示の回数67回

- ・既存の関係団体との連携継続（KFC、神戸アーカイブ写真館等）

「気軽に落語会」（灘）4回 79人 楽喜（ラッキー）落語研究会連携

「パネル展示 レトロKOBEフォトマップ展」7/2～10/6（東灘・灘・三宮・新長田・須磨・
垂水・西）神戸アーカイブ写真館連携

「ミャンマーの皆さんの夏休み図書館見学会『夏休み読書の会 -pre-』」（新長田）7/27 14人
NPO 神戸定住外国人支援センター（KFC）連携

図書館の利用案内(LL版利用案内・「としょかんのつかいかた」紙芝居を使用)、大型絵
本の読み聞かせ、図書館カード作成、自由閲覧

【ミャンマー語での挨拶に嬉しそうにこたえてくれ、利用案内や絵本をととも興味を持って
聞いてくれた。子供達からは自主的な発言も多く、和やかな雰囲気ながら活気ある時間と
なった。】

「夏休み読書の会～ミンガラーパー ミャンマー～」（新長田）8/20・8/27 11人

NPO 神戸定住外国人支援センター（KFC）連携

7/27 図書館見学会に参加の子供達に対して、読み聞かせ、工作会、図書館クイズラリーを実施

【子供達は図書館に来るのを本当に楽しみにしていたと、支援員の方から聞いた。】

| | |
|----|--|
| | <p>「震災 25 年パネル展示『神戸の慰霊碑を訪ねて』」1/10～2/2（東灘・灘・三宮・新長田・須磨・垂水・西）神戸アーカイブ写真館連携</p> <p>「ええとこながた ～多文化をたのしもう～みんなちがってみんないい」（新長田）2/24 45人 世界の国の絵本の読み聞かせと展示。韓国語・中国語・ベトナム語・英語の絵本も展示。 ふたば国際プラザ連携</p> <p>・連携先と相互に利用 PR</p> <p>「障害者が地域で暮らすこと@図書館 vol.2」（兵庫）12/6 5人（再掲） 自立生活センターリング連携</p> <p>「本の案内しよっ ～出張図書案内～」（北）2/23 9人（再掲） 大人の居場所研究舎なりわい連携</p> |
| 評価 | <p>【図書館の自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種関係機関と連携した多くの取組みを実施。特に地元企業や作家の方々を招いての講演会では、普段接することのない生の声に触れ、紙媒体から得られるものに奥行きを持たせた情報提供ができた。 ・他機関との連携展示では、様々な年代・属性の人が訪れる図書館の性質を活かした幅広い情報提供を行うとともに、観覧者の興味・関心を広げ、読書につながるよう努めた。 ・館ごとに、その地域ならではの連携先と行事を実施することで、各館の色合いが出始めている。 <p>【図書館協議会の評価・意見】</p> <p>(1) 行政機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまなイベントが実施されているが、最も重要なのが図書館が神戸市の「情報センター」機能をはたすというミッションを明らかにするイベントであろう。例えば、神戸市のホームページのトップ画面に図書館の検索窓を置き、ここにキーワードを入力すれば、各部局が発行する冊子体やHTML形式の広報に関して、網羅的に検索できるしくみをトライアルで作成し、行政支援サービスの先駆的活用事例として示すといった連携である。 <p>(3) 大学との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内各大学の大学生に向けて、大学図書館では所蔵していない地域資料の活用方法について積極的に打ち出していく必要がある。大学生の公共図書館利用は「本好き」の学生への貸出サービスにとどまっているのではないか。学術情報を扱う大学図書館とは異なる公共図書館の使い方を大学生に広報していくことは重要である。また、大学図書館のホームページに神戸市立図書館の利用者カードを作成すれば、電子図書館サービスを受けられることを示すリンクを貼ってもらい、積極的に市内の大学に在籍する学生に活用していただく取り組みが必要だと思われる。 <p>(4) 企業との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きい企業だけではなく、中小の神戸を代表する商店等との連携にも取り組んでほしい。 ・例えば、神戸市内にある「神戸市立博物館」「UCC コーヒー博物館」「白鶴酒造資料館」など数多くの博物館、美術館、公文書館、資料館などと、デジタルアーカイブズ構築の観点からもっと連携を模索する必要があると思われる。 <p>(5) 地域団体・NPO との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO 神戸定住外国人支援センター（KFC）との連携は高く評価することができる。このような指定管理者が新しい発想で行う「多文化サービス」などを、より積極的に進めていく必要がある。「図書館の自己評価」にあるように、「館ごとに、その地域ならではの連携先と行事を実施することで、各館の色合いが出始めている」と考える。 ・特に（5）の地域団体・NPO との連携による行事、イベントは、利用者のすそ野を広げ、図書館がより開かれたものとなる助けになると思う。続けていただきたい。 <p>(その他全般)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学や地域団体・NPO との連携についてはさらに積極的に進めてほしい。作家などの講演会は図書 |

館として力を入れてほしい催しだ。「紙媒体から得られるものに奥行きを持たせた情報提供」は、利用者が強く望んでいることだろう。充実させてほしい。

・神戸市の老舗 亀井堂総本店とマッチ製造の(株)ナカムラとの講演会には神戸で起業を考える方も参加されたとのことで、これからも継続してもらいたい企画だが、コロナ禍ではリモート講演会や、YouTube で開催していくのも検討できたらと思った。学生向けにも実習やインターンシップの経験を通して図書館により親しみ、足を運んで利用してもらい、チラシやポスターではなく、デジタルサイネージシステムを実験的に使っているのも評価できる。

・取組事例が多く継続してほしい。

・(1)～(4)について、十分な数値実績として評価できる。さらに、連携先の維持、拡大を期待したい。さらに、どこでどういったことがなされているかの市民への情報を簡単に入手できるとありがたい。

評 価

A

4 新たなサービスや機器

評価のポイントと取組事例

(1) 図書館サービス網の拡充整備

- ・ 駅周辺の返却ポスト利用 PR 令和2年2月の1日平均利用冊数

灘：95冊、名谷：155冊、垂水：102冊

9月に、JR 灘駅、JR・山陽電鉄垂水駅、市営地下鉄名谷駅に設置の返却ポストに、市所属のクリエイティブデザイナーによる、動植物を配したデザインの装飾ラッピングを施した。

開始後の駅周辺ポストの返却冊数＝123,486冊（平成31年2月から令和2年3月末まで）

- ・ 垂水区北部の予約図書受取コーナー設置 1日の貸出冊数＝平均100冊以上

ランチ神戸学園都市予約図書受取コーナーは8月16日のオープン以降、順調に利用が伸びている。令和元年度の1日あたりの貸出冊数は、予約図書受取コーナーの中ではベスト2であった。

(2) 快適便利な高機能機器の導入

- ・ 書籍消毒器の設置（北神）

4/23開館と同時に設置、供用開始。1日平均30件程度の利用がある。

- ・ 公衆無線LANの設置（北神）

4/23開館と同時に設置、供用開始。アクセス数は1日平均約30件。

(3) ICT技術を活用したサービスと情報提供

- ・ 電子図書館サービスの検討

当初、令和2年4月末まで2年間の試行実施であったが、新型コロナウイルスの影響により、図書館サービスを制限せざるを得ない状況を受け、サービスの空白期間が生じないように試行実施期間の延長（令和2年12月まで）を決定した。加えて、申し込み方法を簡便化したため、より多くの方にご利用いただいている。また、コンテンツについては、令和2年3月に、休校中の小学生・中学生をターゲットに、新たにおよそ300冊分のコンテンツを追加購入した。現在、サービス内容の検討・提供事業者の選定を行い、令和2年度中の本格実施を目指し作業中。

- ・ HPやSNS、デジタルサイネージでの情報発信

図書館HPやFacebookで、行事の案内や報告などを引き続き発信中。1月より、中央、兵庫、北神図書館では、モバイルバッテリーシェアリングサービスのデジタルサイネージ機能を活用し、館内行事等のPRを始めた。

【図書館の自己評価】

・ 返却ポストについては、前回試行実施時よりも数多くの方に利用いただいております、まずは成果があったといえる。ただ、他の場所にも返却ポストを設置してほしいとの要望も寄せられているが、物流コストの増大もあり今後の課題となっている。

・ ブランチ神戸学園都市については、多くの方に利用いただいております好評である。今後さらにロコミ等で広まれば利用は伸びると考えられる。

・ 電子図書館は、新型コロナウイルスの影響を受け、3月～5月にかけて貸出数が増え、また利用申込も臨時休館後に再開した5月に急増した。

【図書館協議会の評価・意見】

(1) 図書館サービス網の拡充整備

- ・ これまでの取り組みは高く評価することができる。

- ・ 駅周辺の返却ポストの拡大をお願いしたい。（神戸・元町・三宮）

・ ニュースでも大々的に取り上げられていたが、駅など便利な場所の返却ポストが素晴らしいと思う。コロナでますます需要が増えると思う。

(2) 快適便利な高機能機器の導入

・ 書籍消毒機の設置については、各館に配置すべきであるとする。「ウイズコロナ」「アフターコロナ」の時代に設置している館とそうでない館があるのは問題であろう。

評価

・北神図書館の消毒器はコロナ禍の今、需要がより多く求められると思うので、まだ設置されていない区でも早急に設置してほしい。公衆無線 LAN は、まだ使ったことはないが、学生～若い世代の利用があると思うのでこちらもお願いしたい。

(3) ICT 技術を活用したサービスと情報提供

- ・電子図書館サービスの本格的導入、デジタルサイネージについての記述はあるが、さらに「Pepper」（ペッパー）や「Robohon」（ロボホン）などのロボットを活用した館内案内等の業務、QR コードを活用した在留外国人向け書架案内も検討すべきである。”
- ・電子図書館の充実が急務だと思う。
- ・電子図書館のさらなる充実を望む。

(その他全般)

・毎年の努力を継続していることを評価したい。緊急事態宣言時のステイホームを求められたときに、図書館サービスを十分に提供できなかったことが残念であった。休館のため対応しようがなかったと思われるが、今後のウィズコロナを見据えて、職員の方の健康を守りながら、蔵書貸し出しサービスが継続できる工夫に期待したい。返却ポストと同様に、宅配や郵送だけに頼らない神戸市の各種施設を利用した貸し出し拠点が整備できるとありがたい（なかなか協力は得にくいと思われるが）。

評 価

A

| 5 利用しにくい市民への環境整備 | |
|------------------|---|
| 評価のポイントと取組事例 | <p>(1) ユニバーサルデザインに配慮したサービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対面朗読（中央、東灘、新長田）のPR 利用のべ人数 135 人 対面朗読サービスの案内ポスターを館内に掲示、ホームページの案内内容リニューアル ・郵送貸出（中央）のPR 利用のべ人数・のべ冊数 170 人 510 冊 郵送貸出サービスの案内ポスターを館内に掲示、ホームページの案内内容リニューアル ・高齢者福祉施設等への出前おはなし会 [前掲2からの抜き出し] 「ふくろうの会×図書館 高齢者向けおはなし会」（新長田）9/22 60人・1/26 53人 細田地域福祉センターにて、ボランティアグループ「ふくろうの会」と協力し、高齢者に向けて絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊び歌等を行った。 「本の案内しよっ ～出張図書案内～」(北) 2/23 9人 (再掲) 大人の居場所研究舎なりわい連携 <p>(2) ユニバーサルデザインに配慮した利用しやすい環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用案内改定 子供用多言語版（英語・ハングル・中国語・ポルトガル語）の改訂 ・HPの障害者サービスページ作成 11/1 掲出 ・音声読み上げ機能付き拡大読書機の設置（北神図書館） 4/23 開館と同時に設置、供用開始 <p>(3) 図書館を利用していない市民層への働きかけ [前掲2・後掲6からの抜き出し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用促進をはかる館内外での利用講座、「出前トーク」の実施 「みんなおいでよ！Baby & Kids フェス in 東灘図書館」（東灘）5/24 109人・5/25 185人 「図書館べんりガイド」（須磨）10/20 68人 「LOVE LOVE LIBRARY～西図書館講座～」(西) 10/24 6人・10/31 9人・11/7 7人 「出前トーク：図書館貴重資料に見る“こうべ”」(中央) 4/24 97人・7/4 55人 「出前トーク：子供の発達と読書」(中央) 5/8 5人 ・ママフレや長田区アプリ等メディアへの情報提供 「ためまっぷ中央」（三宮）「ためまっぷ長田」（新長田）「ナガイク」（新長田）への情報提供 エコール・リラのLINEを利用した行事等の情報提供（北神） |
| 評価 | <p>【図書館の自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対面朗読サービスのPRを行ったが、2月27日から新型コロナウイルス感染症対策によりサービスを休止。再開は今後の状況による。 ・新規の取り組みとして、細田地域福祉センターへ出向き、絵本の読み聞かせ等を始めた。 ・新規の取り組みとして、外部アプリ等への情報提供を始めた。 ・読書バリアフリー法施行に伴い、さらに一層サービスの充実を図る必要がある。 <p>【図書館協議会の評価・意見】</p> <p>(1)ユニバーサルデザインに配慮したサービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すでに提供されている対面朗読、郵送貸出、高齢者福祉施設等への出前おはなし会だけでなく、音声読み上げ機能を有した電子図書館サービスや自動翻訳機能を活用したカウンター対応など行うべきだろう。「視覚障害者等の読書環境の整備に関する法律＝読書バリアフリー法」では次のように定められている。 ●アクセシブルな電子書籍等（デジタイズ図書・音声読み上げ対応の電子書籍・オーディオブック等）が視覚障害者等の利便性の向上に著しく資することに鑑み、その普及が図られるとともに、視覚障害者等の需要を踏まえ、引き続き、アクセシブルな書籍（点字図書・拡大図書等）が提供されること ●アクセシブルな書籍・電子書籍等の量的拡充・質の向上が図られること ●視覚障害者等の障害の種類・程度に応じた配慮がなされること |

- ・児童館、身障者施設等での読み聞かせ教室等に取り組んでほしい。
- ・対面朗読サービスは、コロナのため・・・とあるが、それに代わる工夫が必要だと思う。
- ・対面朗読などが、コロナウイルス感染症対策のために出来なくなったとの事だが、高齢者や基礎疾患がある方も含めて弱者に向けてのサービスを今だからこそ充実してほしい。他の市町村では移動図書館などもあり、魅力的だった。

(2)ユニバーサルデザインに配慮した利用しやすい環境の整備

- ・障害者を有する市民だけではなく、性的少数者（セクシャルマイノリティ）である LGBT に配慮した「だれでもトイレ」の設置が各館に必須である。

(3)図書館を利用していない市民層への働きかけ

- ・出前トークの試みはすばらしいと思う。
- ・小学生から高校生までの児童・生徒を対象としたものと、大学生や社会人を対象とした利用者カード作成を呼びかける機会を増やすことが重要である。とりわけ非来館型サービスとしての電子図書館サービスをいつでもだれでも使えることを知らせる広報を神戸市民全体に対して行うべきだろう。

(その他全般)

- ・新型コロナウイルスの影響で、サービスの充実が難しかった面はあるだろうが、より多くの人たちが利用しやすい環境づくりに積極的に取り組んでほしい。

- ・サービス提供範囲が広く、どこまで提供できるかがむずかしいが、現状でもできうる提供をしているものとして評価したい。さらにサービス範囲をリサーチして、だれが何を必要としているかの把握をお願いしたい。ただ、図書館だけではヒューマンパワーに限界があるので、すでに連携しているとは思われるが、各種ボランティア団体、学生活動団体との連携を進めていただき、図書館が多様で莫大な知の資源を有しており、それを必要とする市民に各種団体の力を借りながら多様な形で提供するというスタンスもさらに模索していただきたい。

評価

B

(1) 生涯にわたって読書を楽しむ習慣を育てるための読書環境の整備

・資料収集と計画的な買替え

児童書新規購入数：中央 3,851 冊（含 BM）・地域図書館 15,473 冊

・乳幼児と保護者向けサービス イベント開催数 285 回・参加人数 8651 人

「だっこでおはなし」（中央・三宮・兵庫・北・新長田・須磨・垂水・西）

児童館、地域子育て応援プラザ等に出向いて、乳幼児と保護者を対象に絵本の読み聞かせや紹介を行うプログラム。

「ほのぼのひろば」（新長田）月 1 回

地域子育て応援プラザ長田と図書館スタッフによる絵本の読み聞かせ、手遊び歌、育児相談

「おはなしゆりかご」（兵庫）10 月・11 月・1 月・2 月 各月 2 回

地域子育て支援センター兵庫と図書館スタッフによる本の紹介や絵本の読み聞かせ、育児相談、ふれあい遊び

「ちいさなお話会『おもちゃ to 絵本 魔法の子育て』」（兵庫）5/6 14 人

共催：MomLabo（講師：竹下あきこ氏）

「みんなおいでよ！Baby & Kids フェス in 東灘図書館」 5/24 109 人・5/25 185 人（再掲）

【男性による読み聞かせが新鮮で良かった。香りのイベントでは母親もリラックスでき嬉しかった。電子図書館早速申し込みます。】

「おはなしプレゼント in きてきてふれあいパーク」（北）10/25 190 人

北区役所 5 階で行われた子育て支援事業イベントに参加。

「パパのおひざでおはなし会～みんなであうたおう～」（新長田）1/12 16 人

「子育て情報紙」（各区子育て応援プラザ発行）におすすめ絵本を紹介（中央・西）

・館内外での子供と本をつなぐイベント

イベント開催数 961 回・参加人数 12,472 人・展示の回数 299 回（定例のものを含む）

<こどもの読書週間行事> ※期間中、ほか多数行事開催

「本のおたのしみ袋」（新長田、西）4～5 月

「母の日工作会」（北）5/12 12 人

<夏休み・読書週間・その他イベント>

◇図書館内

「リアルサイズ古生物図鑑パネル展示」（須磨）8 月

「リアルサイズ古生物 古生代編」（技術評論社）のパネル 11 枚の展示

「神戸キワニス文庫英語のおはなし会」（中央）年 3 回

カネディアン・アカデミー高校生による英語のおはなし会。キワニスクラブとの共催。

「影絵の世界」（灘）3 回 58 人 影絵劇団しろつめくさによる影絵

「アニマシオン」（灘・新長田）6 回 88 人 あにましおん探偵団

「工作ライブ！ラリー」（北神）3 回 62 人 エコール・リラとの共催

「工作会『けろけろキュービックボールをつくろう』」（兵庫）6/13 12 人

絵本作家、桐隆一さんによるワークショップ

【桐さんから好きなキャラクターを作品に描いてもらい、とても喜ばれていた。】

「ゆるっと歴史おはなし会」（兵庫）8/2 13 人

おやこ三国志 PROJECT による三国志に関連する歴史・文化のお話やクイズと人形劇

「兵庫図書館おばけやしき」（兵庫）8/11 120 人

こどもフェスタプロジェクト「こどもフェスタ夜市」開催時に地域住民との協同実施

「公民館サマースクール 図書館バックヤードツアー」（中央）8/21 38 人

「みる・きく・さわる」～”りか本”のよみきかせワークショップ～（三宮）11/10 25 人

バンドー神戸青少年科学館から講師を招いての工作と図書館職員によるりか本（子供向けの理科の本）の読み聞かせ

「クイズラリー 図書館キャラクターを探せ！」（垂水）10/20～11/9 99 人

【図書館キャラクターを知ってもらおう良いきっかけとなった。相談しながら探している子も

おり児童コーナーの配置を知る手助けになった。記念品のしおりも喜んでいただけた。】
「知ろう備えよう防災工作教室」（須磨）1/11 10人

◇図書館外

「絵本アブナイシリーズ原画展」（三宮）8月 絵本作家山本孝氏の原画を勤労会館1階に展示
「あすてっぷKOBE（市民参画推進局）情報ライブラリーでの『おはなし会』」（中央）年3回
「交通局イベント 夏休みおもちゃ箱列車」絵本貸出（中央）8月 100冊
「空気のおもしろ実験ショー&英語タイム&おはなし会」（須磨）8/4 217人（全体参加者数）
学研エデュケーショナル・須磨区民センターとの共催（手遊びと絵本の読み聞かせ）
「第8回しんながたぐにづか ローカル&ワールドフェスティバル（絵本の読み聞かせ・ブック
リスト配布・うろおぼ絵コーナー）」（新長田）11/24 148人
「ネズミcafé in 新開地冬まつり」（兵庫）12/8 50人 於：神戸アートビレッジセンター
ネズミが登場する絵本150冊の展示、紙芝居の読み聞かせ、なりきり工作コーナーがある
フリースペース
「こべっこランド（社会福祉協議会）クリスマスおはなし会『おはなしわーど』」
（中央）12/21
「こべっこランド（社会福祉協議会）イベント『ぬいぐるみの大冒険』」で配布のリーフレッ
トに絵本紹介を掲載（中央）12月

- ・小・中学生への調べ学習・宿題支援（調べ学習講座・イベント、パスファインダー作成等）
イベント開催数23回・参加人数356人・展示の回数8回
「出前調べ学習講座」（垂水）7月 垂水小、霞ヶ丘小、高丸小
テーマの決め方、図書館での本の探し方・調べ方、事典の使い方、記録方法などについ
て、夏休み前に出前授業を行う。
「夏休み調べ学習『カルタで遊ぼう！地域を知ろう！』」（北）7/27 5人 於：内田家住宅
「夏休み親子新聞教室」（垂水）8/4 12人（須磨）8/8 23人（西）8/10 12人
「自由研究相談室『神戸の遺跡相談室』」（西）8/9 10人 於：神戸市立埋蔵文化財センター
【バックヤード見学が面白かった。色々な保管方法を知ることができ楽しかった。】
「雲のふしぎ研究室」（西）8/16 8人
天気に関する実験（ペットボトル内で作る雲・電球で作る雷）と本を使った調べ学習
「夏休みふしぎ新聞を作ろう」（中央）8/22 4人
「読書感想文講座」（東灘・灘・西）7・8月
【最初は参加者のほとんどが「作文が苦手」と言っていたが、全ての参加者が配布したプリ
ントをきちんと埋められており、読書で感じたことを記す楽しみを体感してもらえた。
（東灘「もっと本が好きになる！読書感想文教室」）8/4 28人】
「親子新聞教室」（東灘）9/23 36人
「調べ学習『ロボットプログラミングに挑戦』」（北神）11/4 23人
講師：地元パソコンスクール「あすか」
【動作をプログラムするのは難しかったが達成感が大きかった。子供達が工夫しながらプロ
グラミングをしている姿が楽しそうだった。】
「ロボットプログラミングワークショップ『ロボット「こくり」をうごかしてみよう』」
（垂水）12/8 10人

「パスファインダー改訂 『職業』『天気』『豆』」（兵庫・北・北神）
「パスファインダー作成 『遊び』『魚』」（兵庫・北・北神）11月・3月
「パスファインダー作成 『港・船』」（東灘・灘・三宮・新長田・須磨・垂水・西）11月
- ・YAコーナーの充実を中心とした青少年層への読書推進
イベント開催数2回・参加人数32人・展示の回数（掲示等含む）181回
「イチオシ！～中高生読書交流会」（北）8/23 8人
「あなたの『推し本』教えてください～POPコンテスト2019～」（北）11/15～11/30

トライやる生徒作成のPOPを中心におすすめ本のPOPを募集し、来館者に投票してもらう
 POP参加人数：中学生8人 コンテスト投票人数：16人
 「生け花展示」（北神）6月～ ブックラウンジにて、北神区民センター生け花講座生徒（中高生）による生け花展示（生徒おすすめ本のポップも随時掲示）
 「YAおすすめ本紹介」（灘）
 「読みたい本を見つけよう」（北）書評と本を並べて貸出する展示
 「YAかわらばん」（須磨）須磨区民センター内に、YA世代を図書館へといざなうミニ掲示を掲出。
 「うる覚えコンテスト」（須磨）テーマを決めたイラストの募集など、中高生の参加も募っている。

その他 YA 向け参加型展示・図書館だより・掲示
 『ぶらっと一言コーナー』（新長田）、『おたよりコーナー』（西）、『ほんのわ』（北）
 『YA向け！紹介されると読みたくなる本』（北神）、『to youth…よんどく？』（新長田）

・学校と連携した中高生参加のイベント

「中学校図書係生徒のつどい」（中央）7/29 136人
 各校図書委員による情報交流およびビブリオバトル大会、中央図書館見学
 「トライやるウィーク参加中学生によるおすすめPOPと本の展示」（須磨）6/11～7/7
 「橘タウンミーティング」（兵庫）12/11 45人 於：神戸市立神港橘高等学校
 神港橘高校2年生を対象に地元兵庫区・神戸市の多様な分野で活躍する地域の人（個人・団体・企業問わず）＝達人として、その活動内容を直接聞くことで生徒たちの地域への関心を高め、神戸を支える「人財」育成に繋げる取り組み

(2) 学校園との連携

- ・団体貸出による資料提供
 「テーマ本集め」（全館） 貸出回数 448回・冊数 13,213冊
 「総合学習用図書」の貸出（中央） 貸出回数 199回・冊数 20,502冊
- ・幼稚園巡回図書の実施（中央）
 利用数：市立34園、私立15園（各120冊）
 過去の巡回図書の譲渡会：7/24・7/26 市立24園参加、541冊譲渡
- ・学校図書係と連携した研修など、学校司書支援
 学校司書研修会での講師（中央）：4回（新規採用者1回、経験者3回）参加人数：148人
 学校司書ブロック別研修会（於：学校図書館）への参加：市立図書館員10人
- ・教員・学校司書への新刊紹介等、情報提供（中央）
 小学校図書館部の教員および学校司書へ児童書を紹介
 年2回、紹介点数：260冊、参加人数：117人
- ・小学校出前ブックトーク（東灘・灘・三宮・兵庫・北・北神・新長田・垂水・西）
 計18回
- ・高校出前授業「絵本の読み聞かせの講義・実践」
 県立夢野台高校（兵庫） 県立友が丘高校（須磨） 神戸第一高等学校（中央）
 計6回
- ・小学校からの見学受入 113回 6,669人

(3) 子供の読書活動推進に関わるボランティア等との連携や支援

- ・読み聞かせ等活動に役立つ講座の開催や新刊本等の情報提供
 ボランティアスキルアップ講座（中央）4回 141人
 1. 講演会「少年少女の家とオズボーン・コレクションのおはなし」10/9 73人
 2. 「おはなし会のプログラムを作ろう 2回講座」1/24・1/31 計47人
 3. 児童書近刊紹介「2019年のこどもの本」2/13 21人
 4. 読書ボランティア交流会 2/27（コロナにより中止）
- ・ボランティア団体との連携企画
 「おはなし会など定例行事でのボランティア導入・連携」

| | |
|----|--|
| | <p>全館で28団体が、1か月あたり44回活動</p> <p>「夏休み特別おはなし会」(中央)7/23 75人 こうべ子ども文庫連絡会との共催</p> <p>・ボランティア交流会の開催</p> <p>「ボランティア報告・交流会」(西)6/10 15人</p> <p>「朗読ボランティア交流会」(垂水)7/16 7人</p> |
| 評価 | <p>【図書館の自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児と保護者向けサービスは、「だっこでおはなし」が定着したことに加え、父親参加の催し、地域団体との連携など広がりが見られている。 ・調べ学習支援は、夏休みの図書館利用につなげる出前講座、実験と本を組み合わせた調べ学習講座など、図書館ならではの支援を各館で工夫して行った。 ・YA層への働きかけとして、兵庫図書館で、地元高校生と地域で活躍する大人が交流する取り組みを行った。 ・子供たちへのブックトークや学校司書・教員への図書紹介のため、日頃から教育課程を理解し子供の本を知ることで、適格な支援に繋げている。 ・巡回用図書として各園に巡回し役割を終えた図書の「譲渡会」を、市立幼稚園へ今回初めて行い、喜んでいただけた。 ・読み聞かせ等ボランティアむけの講座に、「わらべうた」「エプロンシアター」等希望の多い講座を取り入れることを検討したい。 <p>【図書館協議会の評価・意見】</p> <p>(1)生涯にわたって読書を楽しむ習慣を育てるための読書環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ウイズコロナ」「アフターコロナ」の時代には、紙媒体に偏重することなく、子どもと読書の関係についても電子資料の活用を考慮するバランスのとれた施策を講じるべきである。具体的には「読み聞かせ」の対象者としての「子ども像」から、「絵本を制作する」主体としての「子ども像」への転換が必要である。公共図書館でのデジタル絵本の制作ワークショップを開催し、子どもたちが絵本を創り出す場を設定することから始めてみるべきであろう。 <p>(2)学校園との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの取り組みはあまりにも「アナログ」的発想で展開されてきた。OECD(経済協力開発機構)による生徒の学習到達度調査(PISA)は、義務教育終了段階の15歳児を対象に、2000年から3年ごとに調査を行っているが、2018年調査(2018年6月～8月実施)では「日本は学校の授業(国語、数学、理科)におけるデジタル機器の利用時間が短く、「利用しない」と答えた生徒の割合が約80%に及び、OECD加盟37か国中で最下位となっている。[文部科学省・国立教育政策研究所「OECD生徒の学習到達度調査2018年調査(PISA2018)のポイント」p.10。 [https://www.nier.go.jp/kokusai/pisa/pdf/2018/01_point.pdf]つまり、オンライン授業や電子資料活用型教育実践を念頭におき、公共図書館として学校図書館の支援スタイルを変更していく必要がある。電子図書やデータベースの活用法に関する支援が必要である。 ・特に学校園との連携がありがたい。ぜひ続けてほしい。 ・学校園への団体貸出は、学校にとっては、とてもよい取組であるが、その調整を学校園の図書館部の教員がやっているの、その業務を図書館側にしていきたい。 <p>(3)子供の読書活動推進に関わるボランティア等との連携や支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの取り組みは活発に行われており、高く評価することができる。 <p>(その他全般)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・YA向けの企画やイベントが増えており、頑張っておられると思う。学校との連携の「中学校図書係生徒のつどい」を中央図書館で開催されたのは、とてもよかったと思う。 ・さまざまな形や場所で子ども向けのサービスに取り組んでいることが感じられる。新型コロナウイルスの影響で家にいる時間が増えただけに、本に親しむ機会を増やすことに一層力を入れてほしい。 ・十分な活動をしているものとして高く評価したい。いずれもひとつひとつは意味ある内容と思われ |

るが、全体として何をめざして何をやっているのかの総括を元に、継続する企画と、終了し新たに始める企画の選別が、魅力を維持し続けることになると思われる。サービスを提供された側がそのサービスによってどのようなベネフィットがあったのか、あるいは図書館ファン・応援団になってくれたのか、直後アンケートだけでないフォローアップデータを収集できると有用な基礎的マーケットデータ、あるいは人間発達と図書との関連を検証できるデータ（例：幼児期に本好きになると、将来も本好きなのか）が得られると思われる。同様に、個人データの関係で取扱がむずかしいかと思われるが、図書館には貸し出し情報と借受人情報の魅力的なデータがあり、単純集計やクロス集計を越えた統計分析を期待したい。

評 価

A